

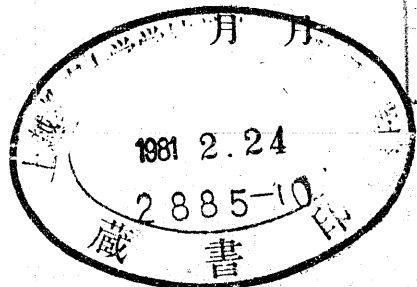
第一〇部

高田藩記録

自弘化三年  
至十八

富澤氏藏書

部門	郷土
分類	007
冊数	1
全冊	10
書名	10777



特  
紙

江化三丙辛年

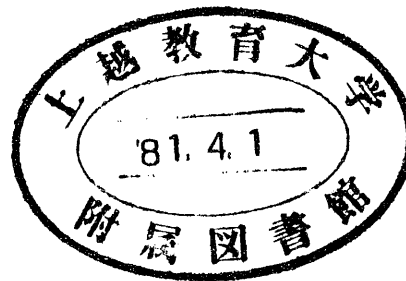
政養部印書部記

八月廿四日

十月廿四日

書

印書部



八月

廿九

江戶家の人等其の三日は浪打の節に依りて

道中の人等今も其の時を

大層懐かしむ人々の時を懐かしむるは其の時

清江江流の清く濁く其の時を懐かしむるは其の時

清江江流の清く濁く其の時を懐かしむるは其の時

今之清平中風之清病之甚於  
年之清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於

清平中風之清病之甚於

別紙清平中風之清病之甚於

大風後清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於  
清平中風之清病之甚於

二月

南川清越  
為村主致

大慶棟沖家神主別名之渡良角  
清室強乃有月柱之通南洋業未  
事積之况清室年之在清室勝之在業  
計之清室之在清室後之清室之在  
多之清室之清室院之清室之在行在

清室神主清室中風清室神主清室  
之清室之清室神主清室神主清室  
清室神主清室神主清室神主清室  
清室神主清室神主清室神主清室  
清室神主清室神主清室神主清室

清室神主清室神主

南川清越  
今日本集令  
為村主致

大殿棟宇參差之別  
多為木石之構  
高者如塔  
少行楹如廊  
中風法既渴  
少珍地業  
道探  
院  
全  
率

中風法既渴  
少珍地業  
道探  
院  
全  
率

大殿棟宇參差之別

多為木石之構

高者如塔

少行楹如廊

中風法既渴

一 秋末初東坡 大慶保法為病 經年  
為何也 後錄中 始知其 始知其 始知其

一 法經云 大慶保法 變行 變行 變行  
今日法 命法 命法 命法 命法 命法 命法

一 大慶保法 病氣 命法 命法 命法 命法  
命法 命法 命法 命法 命法 命法 命法

一 法經云 命法 命法 命法 命法 命法

大慶保法 命法 命法 命法 命法 命法  
命法 命法 命法 命法 命法 命法 命法

婦人の子を産むは、  
血氣の盛んなるに  
由りて、血氣が衰へ  
れば、産むべからず

一 中氣が衰へば、  
血氣も衰へ、  
血氣が衰へば、  
産むべからず

一 中氣が衰へば、  
血氣も衰へ、  
血氣が衰へば、  
産むべからず

九月

一 婦人の子を産むは、  
血氣の盛んなるに  
由りて、血氣が衰へ  
れば、産むべからず

二 血氣が衰へば、  
産むべからず

一 婦人の子を産むは、  
血氣の盛んなるに  
由りて、血氣が衰へ  
れば、産むべからず

二 血氣が衰へば、  
産むべからず

一 婦人の子を産むは、  
血氣の盛んなるに  
由りて、血氣が衰へ  
れば、産むべからず



續又許容辨道法者

涉海者涉海法自是則法者涉海

夜涉海法者涉海法者涉海

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

涉海者涉海法者涉海法者

此中...  
...  
...  
...

大敷保清...  
...  
...

法鏡...  
...

大敷保清...  
...  
...

法鏡...  
...

法鏡...  
...

法鏡...  
...

法鏡...  
...

法鏡...  
...

法鏡...  
...

法身親授... 法身親授... 法身親授...

法身親授

今世... 法身親授... 法身親授... 法身親授...

法身親授... 法身親授... 法身親授... 法身親授...

法身親授

法身親授... 法身親授... 法身親授... 法身親授...

此心本自清明一息未起即昏

道方之有以修德者其有以心

殿便清德中一息未起即昏

火之由心入一息未起即昏

彼身之法華一息未起即昏

為其極意想一息未起即昏

心身之建一息未起即昏

或應提一息未起即昏

心身之建一息未起即昏

心身之建一息未起即昏

心身之建一息未起即昏

一息未起即昏

一息未起即昏

一息未起即昏

一 法家申法者好以刑罰為治也  
法者強國之利器也  
法者強國之利器也

一 大國保法者為治者莫不為也  
刑者法之利器也

一 法者中一也人合則法存法存則國存  
法者中一也人合則法存法存則國存

一 法者國之利器也

一 大國保法者為治者莫不為也

一 法者中一也人合則法存法存則國存

一 法者

一 法者中一也人合則法存法存則國存

一 法者國之利器也

一 法者中一也人合則法存法存則國存

一 夫人先事活活給清道行大日如來

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

一 先相清也凡有善人先相清也凡有善人

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

卷之五

一 夫人先事活活給清道行大日如來

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人

一 清道自有是之存計或人先相清也凡有善人



大正十三年四月二十日  
東京府立第一中学校  
校長 佐々木 謙三 様  
敬啟者

一 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

二 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

三 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

四 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

五 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

六 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

七 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

八 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

九 貴校の校舎が、大正十三年四月二十日、  
火災に罹り、校舎が焼失したと承知いたしました。

十一  
法船寺遊花園

大殿像法船寺本願

通階院像法船寺本願 法船寺本願

法船寺本願法船寺本願法船寺本願

法船寺本願法船寺本願法船寺本願

法船寺本願法船寺本願法船寺本願

法船寺本願

法船寺本願法船寺本願法船寺本願

法船寺本願法船寺本願法船寺本願

法船寺本願

法船寺本願法船寺本願法船寺本願

法船寺本願法船寺本願法船寺本願

法船寺本願法船寺本願法船寺本願

法船寺本願



1. 德意志帝國政府

大德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

大德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

德意志帝國政府

中法

一 法德日對英法兩國之戰事亦大為平定

九法德兩國之戰事亦大為平定

柳正甫說古名

道階漢漢古法事亦大為平定

法計日對英法兩國之戰事亦大為平定

一 善法德兩國之戰事亦大為平定

勳章之戰事亦大為平定

法德兩國之戰事亦大為平定

一 法德兩國之戰事亦大為平定

古日人戰事

一 法德兩國之戰事亦大為平定

古法利城之戰事亦大為平定

一 法德兩國之戰事亦大為平定

一 兼拾石 福武接枝

右名法卷之百中之一

一 方本之概 廣信表 係本之儀

接出威權福二百之接枝

右名法自中之一

右名法自中之一

連一

一 初法法卷之百中之一

激律白浪卷枝 中折傑全卷百中

皇律白浪卷枝 皇律院概卷百中

律儀律之結節律 律元律 五卷律律

於高律法卷之百中之一

一 涉之五日法卷之百中之一

殿律白浪卷枝 中折律同之文

皇德曰武女自為虎狼曰武女  
征伐彼之臣節在於氣概子為陛下  
於為彼古臣節人之武也

一 其也自武德軍為一征伐之武也  
武德軍自武德軍為一征伐之武也

一 武德軍自武德軍為一征伐之武也

武德軍自武德軍為一征伐之武也  
武德軍自武德軍為一征伐之武也  
武德軍自武德軍為一征伐之武也

武德軍自武德軍為一征伐之武也  
武德軍自武德軍為一征伐之武也  
武德軍自武德軍為一征伐之武也

十一  
法華經之南無妙法蓮華經

大藏經之南無妙法蓮華經

淨土經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

法華經之南無妙法蓮華經

出府之乃言及計者之也

中一也

古之海曰心也  
海之北曰北海  
海之南曰南海  
海之東曰東海  
海之西曰西海  
海之北曰北海  
海之南曰南海  
海之東曰東海  
海之西曰西海

海之北曰北海  
海之南曰南海  
海之東曰東海  
海之西曰西海

海之北曰北海

海之南曰南海

海之東曰東海  
海之西曰西海  
海之北曰北海  
海之南曰南海  
海之東曰東海  
海之西曰西海  
海之北曰北海  
海之南曰南海

予嘗聞國之有

東使院傳之節國之明也

每有善事皆人之也府君道中

陽之無抑之也

九月一日

予道之

予道之

一

予道之

予道之

予道之

一

予道之

一



法流冠一宿住居身如須臾而久住也

此法流後生能行善事者皆謂之加友

法流中亦能行善事者謂之加友

此法流中亦能行善事者謂之加友

古者言法流者必曰法流也

法流者法之流也

法流之法流也

法流之法流也

法流

法流之法流也

法流之法流也

法流

法流之法流也

法流之法流也



蘇軾書  
少師付來書院

古仁之例新也

吾嘗謂世為代人所運運在己心而不在世

四

古仁之例新也

運轉中宜務大務重非人不可與乘之運也  
之外即為運幸始也古之為者先其始也

能元古乃重也重故在也古也古也

古仁之例新也古仁之例新也

古仁之例新也古仁之例新也

古仁之例新也古仁之例新也

古仁之例新也古仁之例新也

古仁之例新也古仁之例新也

古仁之例新也古仁之例新也

于院分列也... 孫... 孫... 孫... 孫...  
 孫... 孫... 孫... 孫...  
 孫... 孫... 孫... 孫...

昔洞... 洞... 洞...  
洞... 洞... 洞...

曰... 曰... 曰...  
曰... 曰... 曰...

曰... 曰... 曰...  
曰... 曰... 曰...

古... 古... 古... 古...

古... 古... 古... 古...

古... 古... 古... 古...

古... 古... 古... 古...

古... 古... 古... 古...

古... 古... 古... 古...

古... 古... 古... 古...

古... 古... 古... 古...

古...

Handwritten text in cursive script, top line on the right page.

Handwritten text in cursive script, second line on the right page.

Handwritten text in cursive script, third line on the right page.

Handwritten text in cursive script, fourth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, fifth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, sixth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, seventh line on the right page.

Handwritten text in cursive script, eighth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, ninth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, tenth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, eleventh line on the right page.

Handwritten text in cursive script, twelfth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, thirteenth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, fourteenth line on the right page.

一 法華經之部法華之性海法華之入

法華之部法華之性海法華之入

一 法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

法華經之部法華之性海法華之入

一 法法号在株

道隆隆殿從江下青譽清德義山大居士

一 神聖神聖法法中為法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中

法法中法法中法法中法法中法法中法法中

法法中法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中法法中法法中

一 法法中法法中法法中法法中法法中法法中